

石小っ子の学び方

◎子どもの立場で、表現します（※は「特に気を付けること」、★は「やってほしい！プラス・ワン」を表します）。

持ち物

目指す姿：学習に必要な物を、いつも整えておく

1 学習に必要な物だけを、準備します。

○ふでばこの中身

えんぴつを5～6本程度 赤えんぴつ 青えんぴつ 消しゴム 下じき 定規（算数では、三角定規2枚1組）

※シャープペンは使わないので、持って来ません。

※筆箱には、キーホルダーやマスコットを付けません。

○道具袋の中身

はさみ のり 分度器・コンパス（学年に応じて）

※カッターと彫刻刀は、必要なとき以外には、家に持ち帰ります。

2 持ち物には、名前を書きます。



学習の準備

目指す姿：身の回りの整理をして、静かに待つ

1 授業が始まる前に、机の上を、整えておきます。

2 休み時間のうちにえんぴつをけずったり、消しゴムのかすを捨てたりします。

3 特別教室に移動したときには、机の上の準備物などにさわらないで、静かに待ちます。



始業

目指す姿：一緒に授業をする先生や友達と気持ちよいあいさつをする

1 日直「起立」→全員（いすのとなりになり立ちます。いすは引いたままにします。）

2 日直「注目」→全員（先生の方に、体を向けまっすぐに立ち、先生と目を合わせます。）

3 日直「礼」→全員（礼三息で、おじぎをします。）

4 先生（全員のおじぎの仕方を確かめてから、礼をします。）

※おじぎがしっかりとできていない場合は、もう一度行います。全員の心が一つになるまでやり直します。

5 日直「（先生が姿勢をもどしたら）着席」→全員（静かにいすに座り、学習に取り組む姿勢になります。）

学ぶ姿勢

目指す姿：いっしょに学んでいて安心できる雰囲気をつくる

1 名前を呼ばれたら「はい」と元気に返事をして、いすの前に立って発表します。

2 たずねられたことについて、自分の考えをしっかりと表します。

★考えている途中でも、自分の意見をしっかりと伝えるようにしましょう。

【例】「考えているので、少し時間をください。」

「考えがまとまらないので、友達の発表を聞いて考えます。」

「〇〇というところまでは分かりました。」

3 相手に体を向けて話を聞きます。

★うなずいたり、よい考えに拍手をしたりして、自分の思いを伝え、相手が話しやすい雰囲気をつくりましょう。

4 音読するときには、全員が本をもって読む姿勢を整えます。



発表

目指す姿：分からない人が理解したり、納得したりするように、簡潔に話す

1 聞く人の方に体を向けます。

2 黒板を使って発表するときには、「説明します。」と言ってから、話し始めます。

★話す順番を工夫して、自分の思いや考えが相手に伝わるように発表しましょう。



説明します。
まず、~~~~~。
次に、~~~~~。
さらに、~~~~~。
「だから～と考えます。」

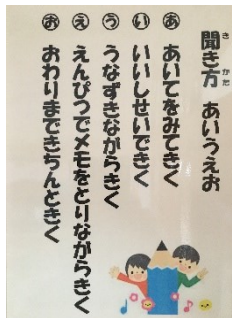
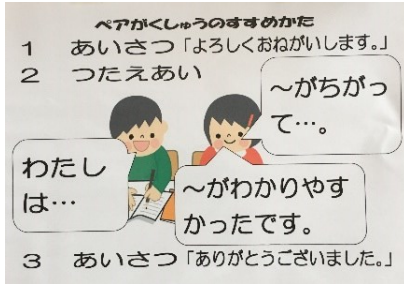


話し合い

目指す姿：友達の考えのよいところを多く見付ける

◎話し合いの基本は、「相手の話をよく聞いて、内容を理解すること」です。

- 1 自分の考えとちがうことは、自分が気付かなかった「もう一つの考え」として聞きます。
- 2 同じ考えでも、自分の言葉で最後まで説明します。理由には、新しい発見がかくれています。
△：「□□さんと同じ考えです。」
○：「私は、～ということから・・・と考えました。」
- 3 相手の思いや考えを理解しようと努力して聞きます。
★「□□さんの言いたいことは、○○ということかな」と言いかえられるようにしましょう。



同じ考えでも、話すときに使う言葉が違くと伝わり方が変わります。

例：賛成するとき

△：「□□さんの意見で、いいと思います。」
→聞き方によっては、いいかげんな話し方に受け取れます。

○：「□□さんの意見が、いいと思います。」
→特によかったという感じが伝わります。

★「ひとつ」に気持ちを込めた言い方をしましょう

ノート

目指す姿：ノートはていねいに、学習の振り返りができるように書く

- 1 日付を書きます。
- 2 学習課題は、青えんぴつで囲みます。
- 3 まとめは、赤えんぴつで囲みます。
- 4 先生から特別な指示がない場合には、毎時間、新しいページから書き始めます。
ページの始めを見ただけで何を学んだかがすぐに分かるようにていねいに書きます。
- 5 先生がチョークを持ったら、えんぴつを持って書く用意をします。
- 6 先生が黒板に書き終わったら、できるだけ早くノートに書き写すのを終えるようにします(30秒を目安に)。
★内容を読みながら、耳で聞いて書き写すようにしましょう。そうすると、先生と同時に書き終わります。
- 7 書き終わったら、えんぴつは元の位置にもどします。
- 8 線を引くときは、定規を使います。

終業

目指す姿：授業を終えた充実感や努力、感謝の気持ちをあいさつで表す

- 1 日直「起立」→全員（いすのとなりになり立ちます。いすは引いたままにします。）
- 2 日直「注目」→全員（先生の方に、体を向けまっすぐに立ち、先生と目を合わせます。）
- 3 日直「礼」→全員（礼三息で、おじぎをします。）
- 4 先生（全員のおじぎの仕方を確かめてから、礼をします。）
※おじぎがしっかりとできていない場合は、もう一度行います。心をこめて、気持ちよく終わります。
- 5 日直「（先生が姿勢をもどしたら）着席」→全員（静かにいすに座り、学習に取り組む姿勢になります。）
- 6 学習用具を片付け、次の授業の準備をします。

学習の約束

目指す姿：安心して学ぶ環境をつくる

- 1 授業中は、勝手に立ち歩いたり、無駄話をしたりしないで、学習に集中するようにします。
- 2 席から離れて活動するときには、いすを入れます。
- 3 学習用具の整理整頓に努めます。
- 4 友達と助け合い、協力し合いながら学習します。
★友達が「分かった」「自分にもできた」という自信がもてる接し方をしましょう。
- 5 分からないことは、そのままにしないで友達や先生に聞きます。
- 6 授業で使ったところは、進んできれいにします。
- 7 習字用具は、流し場で洗いません。
- 8 黒板は、先生やみんなのノートです。落書きをしないで、きれいに使います。



 ※みんな約束やきまりを守り、落ち着いた教室で高まる集中力、何でも話せる教室や失敗ができる教室で高まる安心感、そんな中で、友達が共に認め合い、教え合い、高め合って成長する学級をみんなで作っていきましょう。
 「石小っ子の学び方」を一つ一つ確認してみましょう。